



～講演会「介護福祉の知識・技術をスキルアップ!」～
認知症の評価と治療・介入～言語聴覚士の立場から～
植田 恵先生の講演を聞いて



認知症の方と関わる際、その人を知ろうと認知症がどういうものかを学ぶことはとても重要だと思います。植田先生は、認知症の原因、症状、なぜコミュニケーションに問題が起きるか、そしてどのような関わり方が良いのかを、順を追って聞き手にわかりやすく、詳しく説明してくださいました。

言語聴覚士は、コミュニケーションに問題がある方に専門的な支援やサービスを提供します。その際ただサービスを提供するのではなく、その方が楽しめ、さらには周りの方も嬉しくなるような活動をしているというところに、植田先生のあたたかい心を感じました。そういう人と人とのふれあいは、介護の現場でもとても大切なことだと思います。

現在、介護施設等で活躍している言語聴覚士の方は少ないそうなので、今度更なる必要性を感じました。また、言語聴覚士の方が活躍することで利用者の笑顔がうまれるのではないかと思います。



短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 1年 田中 佳那

～サークル紹介「チアダンスサークル Welfares」～



私たちチアダンスサークル「Welfares」は、人を元気にすることをモットーに活動しています。サークルメンバーのほとんどがチアの経験はありませんでしたが、Danceが大好きで、そして先輩方と先生方の力強い支え

があり、今のサークルがあります。

練習は主に空き時間に E スタジオで行っています。発表の場所は、特別支援学校や施設の文化祭など、さまざまな場所でのボランティア出演、オープンキャンパスや緑栄祭(学園祭)などです。緑栄祭では毎年多くの方に楽しんで観てもらえるように、いろいろなジャンルのダンスに挑戦しています。

サークル名の「Welfares」は「福祉の心」という意味があります。みんな仲間思いで、楽しく活動しているととても素敵なサークルです。

“みなさんもそんな仲間と一緒に踊ってみませんか!”

代表：短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 鈴木 彩香



～植草学園大学／短期大学 事務局紹介「学生課」～

学生課では、在学証明書・通学証明書など各種証明書の発行、サークル(部)活動の部室の割り振りや管理、予算執行への支援、各種奨学金の手続き関係、学生教育研究災害傷害保険の手続きなどの事務的な仕事以外にも、学生生活全般にわたり、困っていることや悩んでいることの相談にのるなどの活動もしており、学生にとって身近な存在でありたいと思っています。



これ以外にも遠方からの入学予定者へはアパートや寮の紹介も行っています。最寄りの JR 都賀駅から学園までの通学バスの乗車券の手配や忘れ物、落とし物の保管・持ち主への連絡等を日常業務として行っています。

みなさんが安心して学生生活を送れるよう、学生課の職員は仕事に励んでいます。

植草学園大学／短期大学 学生課長 太田 秀樹(写真中央)

～入学して5ヶ月、1年生前期が終わりました～



私は、理学療法士をめざして毎日勉強しています。高校とは違い、専門的な勉強が多いのでとても大変ですが、やりがいを感じています。大学には全国から同じ目標をもつ人が集まるので、お互

いに教え合ったりして、高い目標へ向かって意欲的に勉強ができます。

また私は、4月から親元を離れて一人暮らしをしています。親元を離れてみて改めて両親へのありがたさを実感しました。一人暮らしはいろいろと大変ですが、人として成長するための良い経験だと思い、勉強と両立して頑張っています。

後期は一段と勉強が難しくなり、演習科目も増え、現場での実習もありますが、3年後の国家試験合格に向けて、一日一日を大事にして頑張っていきたいと思っています。

大学 保健医療学部 理学療法学科 1年 先崎 拓人

～入試情報～

いよいよ8/22(月)からAO入試1期の出願受付が始まります。8/29(月)必着締め切りです。8/29(月)17:00まででしたら窓口への持参も可能です。

入学試験要項16ページ「出願に必要な書類」をもう一度読んで、記入漏れや書類に不備がないかを確認してください。

最近、保護者の方からの入試に関する質問の電話が増えていますが、必ず受験生本人が問い合わせるようにしてください。